

ひだか HIDAKA GIKAI DAYORI 議会だより

第165号
平成29年1月31日



平成29年 成人式 (H29.1.8)

行政報告	2~4P
審議したこと・決まったこと	5~6P
陳情・議員提出議案	6P
委員会活動	6~8P
一般質問に6氏が立つ	9~14P
第3回臨時会・行政視察研修	15P
議会日誌・編集後記	16~17P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

公務外災害認定 処分取り消し請求 控訴について

先の新聞報道にありましたように、元職員が訴えていた公務外災害認定処分取り消し請求控訴事件について、高松高裁で判決があり、地方公務員災害補償基金高知県支部が控訴を断念したため、本人の訴えていた公務災害が認められる判決が確定した。当時は、行政改革の最中であり、非常に厳しい勤務実態を強いていたことは事実であったことから、せめて公務災害と認定されることを望んでいましたが、公務外となり憂慮し

ていた。認定されたことは喜ばしいことではあるが、このために公務員としての職務を続けることができなくなり、辞めざるを得なかった元職員の心情を考えると、誠に申し訳なく、深くお詫びを申し上げるところです。二度とこのようなことが起こらないよう再発防止に尽くしたいと考えている。なお、この結果に基づき休職の期間中の給与等の取り扱いについて検討し、必要な予算は今後、議会へお諮りしたい。

水道料金改定の検討

次に、簡易水道事業について今後、給水人口の減少に伴う料金収入の減、及び施設の更新(耐震化)に必要な工事費等を見込んだ財政シミュレーションを行った結果、平成31年度には実質収支が赤字になる予測となり、今後30年以内に高い

確率で発生するといわれている、南海トラフ地震における施設被害を最小限に抑えライフラインを維持していくためには、現在進めている施設の耐震化をより一層推進する必要がある、簡易水道事業の健全化に向けた利用者の方にも一定の負担増をお願いする必要がある。しかるべき手続きを踏んだ上で平成29年度の料金改定に向けた検討を進めてまいりたいと考える。

夢団地1棟の 用途廃止

能津地区の夢団地(若者定住住宅)1棟において入居の応募がない状態が続いており、県との協議により公営住宅としての需要がないとの判断に基づき用途廃止を行うこととなった。今後は、能津地区の活性化に寄与できる活用方法について検討していきたいと考えている。



用途廃止される1棟(夢団地)

日高村消防団 内閣総理大臣表彰 を受賞

9月12日に総理官邸において、平成28年度防災功勞者内閣総理大臣表彰式が執り行われ、日高村消防団が受賞の栄に浴しました。この賞は、災害時における人

命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及、及び、防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体または個人を対象として表彰するもので、日高村消防団は、平成26年8月台風災害の際、水防活動に関する多大な功績が認められたこ



内閣総理大臣表彰式に矢野消防団長が日高村消防団を代表し出席する(首相官邸にて)

とから、このたびの受賞となりました。心よりお喜び申し上げます。今月18日には、関係者において、報告会・祝賀会を計画していただきますので、ぜひご臨席を賜りたい。

村表彰式

挙行される

11月3日に村表彰式を行い、功労表彰として長きにわたり村議会議員として活躍されました正岡明様を表彰させていただきました。また同日、秋の叙勲において瑞宝単光章を元消防団員の藤岡利明様、元仁淀消防組合署員の大川俊彦様が受章されています。心からお喜びを申し上げます。また、今後ますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。



日高村表彰式(社会福祉センターにて)

ふれあい高新

in 日高村

11月8日から12日にかけて「ふれあい高新in日高村」が開催されました。期間中は、本村に高知新聞の移動編集局が置かれ、本村のニュースを重点的に報道していただき、また、くさか里樹さんによる漫画教室や観客参加型の音楽会、

龍馬チャレンジ

本格稼働

キャラクターショーなど楽しいイベントも多く開催されました。村の駅ひだかでは「2周年創業祭」や小村神社で行われた「第3回メシふえすていばる」を周遊バスでつなぐなど、村内イベントと連動し、村内外から多くの方にご参加いただき、日高村を広くPRできた取り組みとなった。

賛同会員からご寄付とアンケートを賜り、新しいイベントや事業を創出する取り組みとして、10月24日から本格稼働した「龍馬チャレンジ」について、12月6日現在の実績は、寄付件数684件、寄付金額1億2千万円となっている。引き続き実施していくとともに、ご寄付いただいた内容についての活用方を検討委員会と諮り、交流人口の拡大に向けた取り組み等を展開していく予定だ。

連携中枢都市圏構想 への取り組み

連携中枢都市圏構想について、先の議会において「11月頃から都市圏ビジョンの策定に向けて、高知市が外部有識者で構成する懇談会を開催し、3月には議会の議決をいただいたうえで高知市と連携協定を締結し、都市圏ビジョンを策定したい」と報告をしていたが、本村を含む多くの市町村から高知市に対して、事業を執行する担当課同士の直接の協議が必要であるという意見や、この制度を所管する総務省によるヒアリングでは、高知市に対する県内全市町村での取り組みが全国的にも注目されており、その先例となることから高い評価を得られるような事業にしてほしいとの助言があったと聞いている。

こういった状況を踏まえ、高知市から、一定時間をかけた丁寧な議論を行い連携事業の熟度を高めるとともに、実効性のある連携

体制を構築していく必要があるとして、今年度末の連携中枢都市圏を形成するという現在のスケジュールを見直し、来年12月をめどに改めてスケジュールを組み直したいとの話をいただいた。本村としても高知市や他の市町村と連携事業の内容等について丁寧な協議を重ねることで、より着実にメリットを享受できると考えており、このたびの提案を了解することとし全国的にも高い評価を得られるような、より良い取り組みとしていきたい。

第10回「ひだか茂平 マラソン」開催される

11月27日に「ひだか茂平マラソン」が開催された。第10回大会となる本年は、全国より1386人の申し込みがあり、当日は朝から断続的に雨が降るあいにくの天候となったが、350人余りのボランティアの皆様にご協力をいただき、大いに盛り上がった大会にすることができたことに心よりお

礼を申し上げる。また、1006人の方が完走され、ランナーからは「雨の中、ボランティアの皆さんや沿道から多くの声援があり頑張れた」などの声も寄

せられたが、雨天時の選手の休憩場所や駐車場などの対策が今後の課題となった。今後も魅力ある大会となるよう努めてまいる所存である。



第10回ひだか茂平マラソン

「土佐の教育実践 表彰」・「第2期高 知県教育振興基本 計画推進奨励賞」 の受賞

日高中学校の大川将司教諭が、日々の地道な教育実践による成果が認められ「土佐の教育実践表彰」を受賞された。また、学校支援コーディネーターの杉本久美子さんが、地域との連携・協働による学校支援地域本部事業の成果が認められ「第2期高知県教育振興基本計画推進奨励賞」を受賞された。おふたりには、日高の教育の振興のために多大なる尽力をされており、日々のご苦労に敬意を表しますとともに、本受賞のお喜びを申し上げ今後ますますのご活躍を期待する。

審議したこと

平成28年第4回定例会(12月)

決まったこと

H28.9.8~9.14

12月議会では、予算関係5件、条例関係2件、その他3件、議員提出議案3件、計13議案と陳情2件の合計15件が決まった。

人事

◎人権擁護委員に岡本敏子氏の推薦につき意見を求めることについて適任とした。



岡本敏子氏

任期 委嘱の日から3年間

◎人権擁護委員に前田巳千子氏の推薦につき意見を求めることについて適任とした。



前田巳千子氏

任期 委嘱の日から3年間

◎人権擁護委員に松井通夫氏の推薦につき意見を求めることについて適任とした。



松井通夫氏

任期 委嘱の日から3年間

条例

◎一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告の趣旨に沿って、国準拠に基づき、若年層について給料表(平均改正率0.2%)引き上げ・勤勉手当0.1%引き上げ等の改正等を行うもの。

質疑

なし。

◎日高村介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の全部を改正する条例

質疑

なし。

予算

(△印は減額)

◎平成28年度日高村一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億4千332万8千円を追加するもの。

質疑

なし。

◎平成28年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1千6万7千円を追加するもの。

質疑

なし。

◎平成28年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算の総額からそれぞれ12万9千円を減額するもの。

質疑

なし。

◎平成28年度日高村介護保険特別会計補正予算(第4号)
歳入歳出予算総額にそれぞれ27万2千円を追加するもの。

質疑

問 過誤納戻金21万円の説明を求める。

答 所得の訂正・変更等があり、過納金分を返金するものである。

問 介護予防・生活支援サービス事業費と生活支援サービス事業委託料、そして訪問型サービス負担金が減額されているが、説明を求める。

答 総合事業は、通所介護、

あるいは訪問介護のみの方が対象となる事業というところで、計画よりも他サービスを併用し、介護サービスの対象となる方が増えているため減額を行うものである。

◎平成28年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算総額にそれぞれ36万8千円を追加するもの。

質疑
なし。

その他

◎仁淀川下流衛生事務組合規約の変更について

平成29年度より、いの町本川及び吾北地区のし尿を仁淀川下流衛生事務組合で処理するために、組合規約の変更について、議会の議決を求めるもの。

質疑

なし。

◎高知中央西部焼却処理事務組合規約の変更について

平成29年度より、いの町本川地区の可燃ごみを高知中央西部焼却処理事務組合で処理するために、組合規約の変更について、議会の議決を求めるもの。

質疑

なし。

◎旧仁淀川中央清掃事務組合清掃工場解体工事の請負契約(第1回変更)について

請負契約を変更及び締結したいので、議会の議決を求めるもの。

質疑

なし。

陳情

(敬称略)

◎じん肺・アスベスト被害根絶を求める意見書の提出を求める陳情

提出者

2016なくせじん肺全国キャラバン実行委員会
代表委員 角田季代子
継続審議

◎保育予算を大幅増額し、安心できる保育の実現を求める意見書の提出を求める陳情

提出者
保育の公的保障の拡大を求める大運動高知県実行委員会
会長 田中 きよむ

提出者

採決 全員賛成 採択

平成28年度12月議会 議員提出議案

◎地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書案

提出者 森下 雅文
賛成者 全議員

◎参議院議員選挙における合区の解消に関する意見書提出案

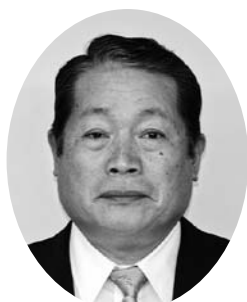
提出者 森下 雅文
賛成者 全議員

◎保育予算を大幅増額し、安心できる保育の実現を求める意見書案

提出者 森下 雅文
賛成者 全議員

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 森下雅文

11月29日(火)・午前9時より

大川内建設課長より
簡易水道特別会計の財政

- シミュレーションについて説明を受けた。
- 3月議会までに十分に検討を行い、料金改定案をまとめたいとの報告を受けた。
- 森下総務課長より
- 1. 休会中の主な行事や今議会への提案事項に関して報告を受けた。
- 2. 村有財産の払い下げ申請を審査した。
下分字琴木の山林2筆530㎡を1㎡当たり50円で払い下げることとした。
- 3. 土地の寄付申し込み2件について審査した。
1件は、本郷字金林坊の畑248㎡、同原野344㎡、同山林3618㎡と52㎡、沖名字蛇ヶ平の山林5552㎡の寄付。寄付の理由として、今後とも使用する予定がないので、今後の村づくりを活用してほしいというもの。
もう1件は、岩目地字桑坂の宅地4・28㎡が現在防災倉庫の設置

場所となっており、村に管理してほしいというもの。

2件を慎重に審査した結果、いずれの申請も受け入れることとした。

森下参事兼室長兼検査監より

一般会計補正予算に関する報告を受け、質疑を行った。

川村住民課長より

1. 差し押さえ不動産の公売、村内全棟調査、マインナーに関する件について報告を受けた。

2. 今議会に提案の、一般会計補正予算の住民課に係る部分、また国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の補正について報告を受けた。

片岡教育長より

9月議会以後のこれまでの経過、行事等について、また今年度内に予定されて

いる行事等について報告を受けた。

その他にも色々と報告を受けたが、特に能津保育園について、移転等の検討をするとの報告に対し、地域全体の切実な願いがあるので、前向きに取り組むべきとの強い意見があった。

経済建設厚生
常任委員会



委員 長 壬生豊秀

11月30日(水)・午後1時30分より

松岡健康福祉課長より

1. 9月27日、28日に長寿者を訪問し、100歳以上の7人の方に記念品をお贈りした。

2. 総合健診は、本年度の特定健診受診者数は、451人で受診率41%。がん検診は、肺がん・結核882人、胃がん612人、

乳がん152人、大腸がん787人、肝炎50人、前立腺がん205人、子宮がん162人の方が受診している。

藤田産業環境課長より

1. 旧仁淀川中央清掃事務所組合清掃工場解体工事の状況は、12月末の工期内完成に向けて取り組んでいるが、工事内容の変更等のため、請負契約の変更議案を12月議会に上程する。

2. 日高村農業クラスタープロジェクト会が発足。トマトハウスの新たな拡大整備の取り組みを核として、地域農業全体を守る中山間複合経営拠点整備とも併せて、JA出荷場、農産物加工施設、直販所、地元レストラン等が連携をし、拡大再生産の好循環を生み出す産業クラスター化を目指す。

大川内建設課長より

1. 江尻地区「かわまちづくり」事業工事



整備の進む江尻地区「かわまちづくり」事業工事

くり」事業について。本年度は、計画地の竹木の伐採や低水護岸の整備が実施される予定。なお、工事で発生する竹木は無償提供する。

日高村振興対策
特別委員会



委員 長 岡本光男

11月30日(水)・15時30分より

大川内建設課長より

県道庄田伊野線については、できるだけ早い時期に新たな区間の再要望で取りまとめていきたい。

藤田産業環境課長より

1. 村の駅ひだかの直販所の売り上げ状況は、各月とも前年より増加しており、3カ月の累計では前年比売り上げが110・9%、レジ通過した来客数が102・9%で、好調に推移している。

みを10%値上げして1㎡当たり110円とする最小限の改定とする方針。

2. 11月12日、13日に2周年・創業祭を実施。

新米の販売と試食、餅つき等を行い、テレビ、ラジオの中継等の効果で、13日には過去最高のレジ通過人数1118人を記録した。

3. 11月18日に、40万人目の来場者が来られ、記念品の贈呈を行った。

4. 今年度中には、レンタサイクル事業を予定しており、村の駅ひだか、仁淀川屋形船に、それぞれ6台の自転車を購入する計画で取り組んでいる。

5. 自転車は、村の駅、あるいは仁淀川屋形船のどちらでも返却できるようならないか。また、自転車の型式等の予定についての質問があり、課長より、村の駅、仁淀川屋形船それぞれに、管理をお願いする予定をしており、当面は、別対応で実施したい。村の駅の方は、猿田洞、小村神社方面等を回れるようにした

い。また、仁淀川屋形船の方は、国道194号を回れるようにしたい。距離的には近距離であり健康づくりにもなると考える。

自転車の型式等は、タイヤの細い軽量スポーツタイプを購入予定している。



仁淀川屋形船乗り場

日高村治水対策 特別委員会



委員長 戸梶 章

11月29日（火）・午前11時より

山崎治水対策室長より

1. 国土交通省による「呑み口側斜坑部への工事用道路」の計画説明会を関係地権者32人と長崎・田福自治会の皆様を対象として開催。村道への待避所の設置や、1m程度の拡幅、残土運搬トラックの1日通行量の制限、住家等への防音対策、事前調査の実施などについての要請・ご意見をいただいた。また、国からこれらの要請に配慮のうえ、事業の推進を図る旨の回答があったとの報告を受けた。

2. 高知県による「残土処分場内の進入路工事」は、第1期工事が9月5日より着手され、進入路1275m、暗渠排水管351mの整備に向け順調に進んでいるとの報告を受けた。

3. 高知県が担当する国岡橋から神母樋門までの延長700mの日下川河川改修工事は、平成29年度内の着手を見込む。また、付近の農業用水については現在、神母樋門上流の河床に高さ2mの段差を設けることで揚水が可能となっており、今後の河川改修にはラバー堰等の検討が必要との報告を受けた。

4. 平成28年8月25日付の日下川新放水路ルートを発表を受け、日下川及び仁淀川改修期成同盟会として、国土交通省・財務省・県選出国會議員の方々に対し、治水事業に関する予算措置や早期整備等へのご支援をいただけるよう、要望活動を行った旨の報告を受けた。

う、要望活動を行った旨の報告を受けた。

緊急雇用創出臨時 特別基金事業 調査特別委員会



委員長 森下雅文

10月14日（金）午前10時より

今後の調査の進め方について協議した。以前委員会出席要請をした3人の公述人からの聴取を踏まえ、(有)トリプルエー取締役O氏に委員会出席要請をし、聴取することとした。

11月2日（水）午前9時より

(有)トリプルエー取締役O氏より、約2時間30分お尋ねをしたが、聴取内容が他の公述人3人の方々と多くの部分で相違があることから、改めて3人の方々から聴取を行うこととした。



岡本光男議員

一般質問に6氏が立つ

若者定住住宅について

質問 能津若者定住住宅の払い下げについてどのよう
に考えているのか。

答弁 大川内建設課長

公営住宅法では、一定の要件の下で、入居者に対して公営住宅を譲渡することも可能とされており、譲渡に必要な要件は概ね満たされているもの
と考える。今後意向調査等を行ってみたい。

答弁 戸梶村長

能津の環境の良さ、空き家も活用する形で地域と共に、考えていかなければ、能津地区の課題は解消できないと考えている。

能津保育園・能津小学校の今後について

質問 能津保育園は、危険

だということ、請願書が村に出されていると思

うが。

答弁 片岡教育長

請願書に沿う形で、移転改築の適地調査をする。財政的な部分もあり、辺地債の対象となる本村地区で調査し取り組む。

その他の質問事項

- (1) 公営住宅団地の思いきつた計画について。
- (2) 昭和29年の合併時に能津、日下間のトンネルを貫通する約束は果たされているのか。
- (3) 空き家・空き地対策について。
- (4) 村内行事について。
- (5) 能津地区の活性化について。



村営能津地区若者定住住宅

無収水量(漏水)放置で、 水道料金値上げは理解されない！



森下芳文議員

質問 漏水検査もやられたようだが、それに伴う無収水量の変化の報告は受けていない。垂れ流しのままで水道料金の値上げは村民感情として納得を得られない。

答弁 大川内建設課長
成果としては、平成21年度以降で計157カ所の漏水箇所を発見し、修繕をした。

質問 無収水量がどれだけ減少したか。

答弁 大川内建設課長
イタチごっこの状況になっっている。日下・加茂は同等の有収率で推移し

ているが、能津地区では有収率の低下が現在も見られる。

質問 対応の仕方が適正なのか。

答弁 大川内建設課長
最善の調査は行っている。

質問 敷設時の図面等は保存されていないのか。

答弁 大川内建設課長
近年のものについてはあるが、能津地区の簡易水道になる以前の配管図が把握できない。

質問 空き家は止水して無収水量が顕著に減少する状態を作らないと、水道料金の値上げは納得が得られない。

答弁 大川内建設課長
来年度に向けて早急に

検討していきたい。

父原 押しボタン信号を 感知式に

質問 父原の押しボタン式信号を感知式と併用にして、時間帯によって感知式が作動するようにできないか。

答弁 森下総務課長
ある一定時間帯に定周期式信号機に変わる複合型にならないか検討を警察署にお願いする。

第4の放水路を 必要としない 合意形成を

質問 今後、何の手立てもせずに放置すれば、第4の放水路を必要とする事態が生まれないという保障はどこにもない。その手立てを問う。

答弁 大川内建設課長
園芸ハウスについては、嵩上げを行わずに建設すると報告を受けている。

答弁 戸梶村長
ソフト面の柱になるの

が、日高村総合治水条例（仮称）である。
日下川新放水路が完成予定の、平成32年度を目標にしてその施工ができるよう取り組んでいる。

質問 全国初ではないようだが、先進地の研究はしているか。

答弁 戸梶村長
さまざま観点から、他県の事例等も収集しながら、日高村に合ったベストなものにしたい。

その他の質問事項

- (1)「押し付け憲法論」の立場に立つか否か。
- (2)原発いじめについて。
- (3)「ふれあい高新in日高村」成果と課題。
- (4)耐震補強の補助金について。
- (5)龍馬チャレンジについて。



国道33号父原の押しボタン信号

能津・日下間に トンネルを!



森下雅文議員

質問 能津・日下間にトンネルができれば、能津地区のみならず、日高村全体にとって非常に大きな発展のツールであると思う。ぜひ整合性のとれた

トンネル構想を練り上げ、要望を繰り返すべきだ。

答弁 戸梶村長

思いは同じだ。まずは、西バイパス以西の事業化に向けて声を上げていくことが大事と考えており、今後、33号整備促進期成同盟会幹事会で練ってもらい、来年度以降の要望活動に取り入れていきたい。

村の駅で通販を

質問 ふるさと納税の返礼品を集めた通販サイトを村の駅で運営することを検討してはどうか。

答弁 森下参事兼室長兼検査監

検討に値するが、返礼品の種類を増やすことが大前提となる。現状では経費の採算が取れない。

企業版 ふるさと納税への 取り組みを

質問 取り組みの見通しは

どうか。賛同企業掘り起こしなどの検討はされているか。

答弁 森下参事兼室長兼検査監

龍馬チャレンジで頂いた施策提言等から、企業版ふるさと納税につなげていきたいと考えている。

役場庁舎の 改築工事は

質問 防災の最重要拠点となる庁舎の改築についてワーキングチームでの検討状況はどうか。

答弁 谷本副村長

年度内に方向性を出す予定。全体の基本的な建築形態を、どのようなものにすべきか検討中で、財源についても検討している。来年度検討委員会を設置し、基本計画の作成へつなげたい。

河床洗掘対策の 住民説明を

質問 新放水路が稼働すれば、一層洗掘が進む恐れがある。県に必要な対策を取っていただけるとのことだが、住民に説明の機会を持つ必要があるのではないか。

住民のご理解が必要であり、県の対策工法が決定すれば、来年度の早い時期に住民説明の機会を持ちたい。

答弁 大川内建設課長

住民のご理解が必要であり、県の対策工法が決定すれば、来年度の早い時期に住民説明の機会を持ちたい。

JRR沖名踏切 改良の見通しは

質問 南側の隣接地の買収が困難で、めどが立っていないとのことだが、見通しは。

答弁 大川内建設課長

法定相続人に対し時効取得の裁判を起しており、3月頃には裁判所の判断が下されると聞いている。

総合治水条例の 策定は

質問 見通しは、いつ頃か。

答弁 大川内建設課長
平成32年度をめどに制定、施行をしたい。

その他の質問事項

- (1) 龍馬チャレンジについて。
- (2) 避難誘導看板・夜間誘導灯の設置について。
- (3) 防災士の養成について。
- (4) 移住促進室の設置について。
- (5) 防災対策について。その他31件。



工事が進むJR沖名入り口踏切付近

どうなる年金



野村重夫議員

質問 公的年金は現在、25年以上加入していないと受給資格はない。この期間を25年から10年にする法案（年金受給資格期間短縮法）が全会一致で衆議院を通過。参議院で審議入りしている。法案が成立すればどう変わるのか。新たな受給者は全国で64万人（65歳以上で老齢基礎年金の受給者は40万人、60歳から64歳で特別支給の老齢厚生年金は24万人）だが、日高村の受給者はどうか。

答弁 川村住民課長
 全国で64万人と報道されているが、現段階では、県別や市町村別の対象者の人数は、高知西年金事務所でも把握できていない。対象者には2月以降に5回に分けて通知するということだ。

質問 受給資格期間の足りない場合は70歳まで加入できるようになるが、それでも10年に満たず無年金の人が全国で約26万人残されるが、日高村の状況は。

答弁 川村住民課長
 高知西年金事務所に問い合わせても回答が得られない。

質問 今度の年金制度改革法は、次のような年金受給額カット法だ。
 ①物価と賃金も上がると

き、上がり方が少ない方に合わせる。
 ②物価が上がって賃金が下がる場合は、賃金に合わせる。
 ③物価も賃金も下がったときは、下がり方が多い方に合わせる。
 ④物価が下がって賃金が上がった時には、物価に合わせて下げる。
 以上のように、将来の年金制度の維持のための改革だと言っているが、年金の将来が不安になる年金カット法である。

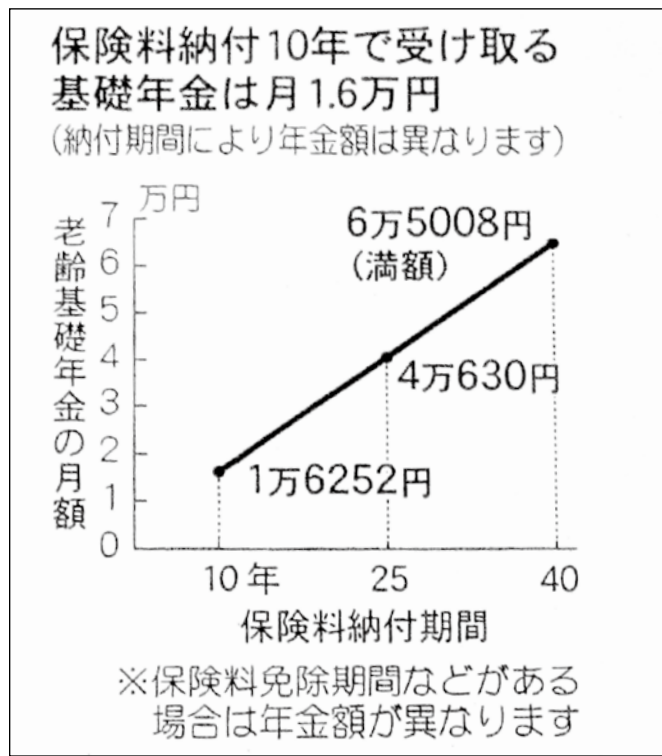
答弁 谷本副村長
 社会現象として高齢世代が増加し、高齢化率が上がり少子高齢化の社会になっているので、社会保障の根幹となるような年金の掛け金も若者の方へずっしりかかってくる。その点は、若者の人口増ということで、政策的に展開しなければなら

子ども医療費の無料化を18歳まで引き上げを

質問 若者生活支援として、子ども医療費の無料化を18歳まで引き上げを今やるべきだと思うが。

答弁 戸梶村長
 来年度以降に、村の態勢が整う平成32年度に向けて、日高村を定住の地として選んでもらえるツールとしての子育て支

援策を検討している。その中で18歳までの医療費の無料化が若い子育て世代にとって有効なのか、それとも別のものがあるのか含めて検討する。



村内の 雑草処理対応は



西川龍子議員

質問 農道や村道等の雑草処理が、高齢化により厳しくなった。処理可能な方だけの努力では、広範囲をまかなえないとの住民からの声があるが、対応は。

答弁 大川内建設課長

地域住民の協力により管理され安定が保たれており、非常にありがたく思っている。地域事情もあり、思うようにいかなかったとの声もある。村では自治会との協議により、地域委託制度を導入し、有償ボランティアでの管理としている例もある。予算の限度もあるが、地域委託の制度拡充も検討させていただきたい。

住民に優しい 行政対応を

質問 休日は、土・日・祝

日のお勤めの方より、納税や証明書等の交付が必要であっても、平日役場に行けず、督促状が来て100円余分に必要になる。コンビニ納税や役場での休日の日直制度ができればと、苦情がある。住民に優しい行政対応をと思うが。

答弁 戸梶村長

コンビニ収納について

浸水常襲地への 対応は！

質問 村が実施しようとする事業と考えるについて問う。

答弁 大川内建設課長

村で概略の検討を行っている。構想の策定をしている。現在関係機関と協議を重ね事業採択に向け取り組みをしている。基本的な考えとして竜石地区では、床上浸水が想定される4戸は、家の嵩上げに

は、小さな自治体では費用対効果の面で非常に難しく、無理ではないかと考えている。日直制度についてもお金を扱うことから2〜3人が必要であり、小さな自治体では平日に穴が出ることになり、無理かと考える。収納については、口座振替を、証明書交付等については、時間の設定等色々な形の中で対応してきた例もあるので、担当課職員に一度相談をしていただきたい。



竜石地区

砂防ダムと河川内の 土砂除去について

質問 砂防ダムと河川内の

土砂の除去は、水の少ない今の時期が最適と考える。

る。危険性のない予防策は。
答弁 大川内建設課長

日下川の浚渫については、戸梶川との合流点から筋違橋までは平成32年度までに実施する県の床上浸水対策特別緊急事業の計画区間となっており、今後計画的に河道掘削が実施される。砂防ダムの基本的な考え方として、定期除石を前提とした砂防ダムは、最近設置した夢団地の上のダムのみとなっている。それ以外のダムは、下流に土石流を流さない目的で設置されており、土砂が満杯になったように見える状態を計画堆砂容量と言い、下流へ土石流の流出を軽減する役割を果たしている。この時の堆積分を計画補足量と言い、その後の出水により、徐々に下流に流されるが、被害が発生する恐れがある時等は、情報提供等をお願いしたい。

より床上浸水を防ぐ方法と排水ポンプの増設を考えている。
岡花地区では、J R線路下の暗渠の拡幅をしたと考えているが、現在事業実施についてのめどは立っていない。方針が決まり次第、地元への説明会を行いたいと考えている。

300有余年の 治水問題解消へ！



戸梶 章議員

質問 平成26年12号台風クラスで、床上浸水被害を発生させないための、「局的低地地区」への対応を問う。

答弁 大川内建設課長

対応水位は1m以内を想定し、下分地区1戸、沖名地区3戸、本郷地区1戸、岩目地区4戸の計9戸を対象に、家屋基礎部の嵩上げ、地区を囲む周囲堤、排水ポンプ、排水暗渠の拡幅等での対応を目指す。

質問 村民が内水被害の経

緯や深刻さを理解し、より確実な避難行動を取るためにも、村の「治水史の整理版」を作成・配布すべきと考えるが。

答弁 大川内建設課長

村民がより確実な避難行動を取るためには、地域の地勢や実情を学び、その知識を地域が共有して有事に備えることは、大変意義深いことであり、治水史の整理版の作成に向け検討を進めたい。

より良い 日高村に向け！

質問 エコサイクルセンター

による経済効果、風評被害、将来を含めた安全性等について、村としての総括を問う。

答弁 谷本副村長

エコサイクルセンター

は、平成5年8月に県からお話をいただき、村内でもさまざまな事柄があつて長い期間を要し、平成23年10月に開設しました。これによって村道やJRの小村神社前駅の整備等が可能となり、さ

らにエコ施設からの固定資産税などの経済効果や将来の安全性等も含め、当施設が満杯になる時期もあるのでは、それまでには総括の必要性もあるのではと考える。

輝き続ける村づくり！

質問 村の悠久の歴史や豊かな自然に接して得られた、子どもたちの人間性を引き継ぐための施策を問う。

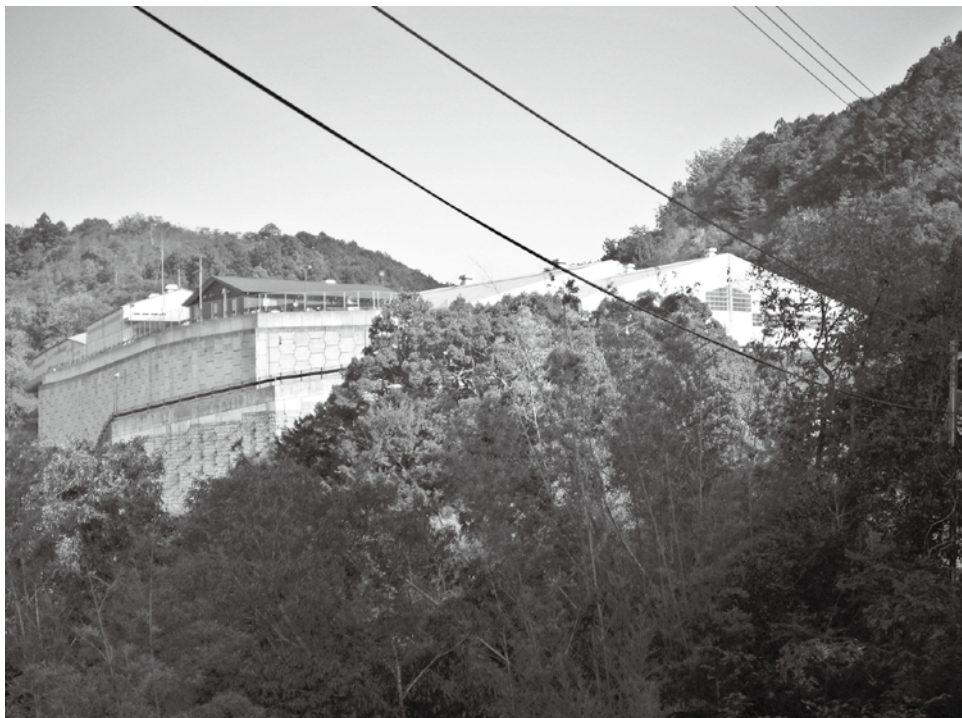
答弁 片岡教育長

子どもたちが変化の激しい社会においても、故郷に誇りと愛着を持ち人と人のつながりや絆を大切に、協働しながら新しい知識や価値観を生み出すなど、新しい時代を創造する力を育ててほしいと思っている。

質問 日高村のJR3駅を核としたフットパス活動への活性化策を問う。

答弁 藤田産業環境課長

県内では日高村と本山町が取り組んでおり、村では4月に着任した地域おこし協力隊員により、現在フットパス活動の成功のカギといわれる村の豊かな自然や歴史を組み込んだ「魅力的なコースと地図」作りに取り組んでいる。



能津地区 エコサイクルセンター

第3回 臨時会

11月14日第3回臨時会が開催され、議案2件が可決された。

予算

◎平成28年度日高村一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ730万7千円を追加するもの。

質疑

問 面積の変更があったようだが、計画が縮小されたのか。

答 ハウス3棟の整備を予定しているが、当初の計画面積より、2棟が面積減となり、1棟が増となる。全体として面積規模が縮小となった。

その他

◎日高村光ケーブル網設備センター設備更新業務の請負契約について

平成28年10月12日指名競争入札に付した、日高村光ケーブル網設備センター設備更新業務について、請負契約を締結したので、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求めるもの。

質疑

問 平成23年から5年で更新ということは、5年後に更新の必要があるのか。

答 この機器以外にも耐用年数の違う機器があり、その都度更新をする。5年後も同機種については必要がでてくる。

議員行政視察研修 を実施

平成28年11月26日～28日の2泊3日で、鳥取県日南町と鳥根県奥出雲町におい

て、議員行政視察研修を行った(1人病気療養中により欠席)。
研修先は、県外からの研修の申し出が多数ある取り組みを実施しており、初日の11月26日は、日南町において移住定住対策の取り組み並びに、空き施設を活用した短期滞在型住宅の整備の取り組みについて意見交

換を行い、そして2日目は鳥根県奥出雲町において、オロチの深山きこりプロジェクト(バイオマスタウン構想)の意見交換と視察を行った。両町の先進的取り組みをご教示いただく研修となった。

日南町、並びに奥出雲町の議会議長・町長並びに職員の皆様方には、ご多用の中にもかかわらず丁寧なご教示を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

日高村議会議員一同



日南町での意見交換



奥出雲町での意見交換

議 会 日 誌

9 / 8 ~ 14

第3回日高村議会

定例会

町村議会議長研修

会及び県政に対す

る意見交換会

尾崎議長

日高中学校体育祭

尾崎議長・森下

(雅)

加茂小・中学校運

動会 西川副議長

仁淀消防組合臨時

会

岡本・横山・矢野

農業委員会 壬生

日高村・佐川町学

校組合議会 尾崎

議長・西川副議長

地域に根ざした佐

川高等学校を後援

する会総会

尾崎議長

例月現金出納検査

野村

29 / 30

四国四県町村長・

議長大会運営協議

会 尾崎議長

四国四県町村長・

議長大会

尾崎議長

国土交通省四国整

備局要望活動

尾崎議長

10 / 1

日下小学校大運動

会 尾崎議長・森

下(雅)

能津小学校大運動

会 森下(雅)

日高村表彰審査会

尾崎議長・壬生・

矢野

第10回高幡町村議

会議長会親睦体育

大会 全議員

平成28年度高知県

中央地区消防操法

大会 矢野

第2回民生委員推

薦会

尾崎議長・壬生

第57回四国地区町

村議会議長会研修

尾崎議長・西川

副議長・森下

(雅)・野村・壬

生・横山・森下

(芳)・戸梶

第3回日高村議会

臨時会

緊急雇用創出臨時

特別基金事業調査

特別委員会

森下(雅)・森下

(芳)・壬生・

西川・戸梶・尾

崎議長

15

県選出国会議員と

町村長・町村議会

議長との意見交換

会 尾崎議長

17

議会広報発行調査

特別委員会

西川・岡本・野

村・森下(芳)・

戸梶

国土交通省四国整

備局要望活動

尾崎議長

18

定期監査 野村

全国町村議会議長

会理事会

尾崎議長

19

都道府県会長会

尾崎議長

20 / 21

日下川改修同盟会

国土交通省へ要望

活動 尾崎議長

22

自治会館落成式

尾崎議長

25

例月現金出納検査

野村

第1回日高村障害

者自立支援協議会

尾崎議長・野村

鳥取県日南町・島

根県奥出雲町に行

政視察研修

9人出席・1人病

欠

11 / 1

高知県戦没者追悼

式 尾崎議長

緊急雇用創出臨時

特別基金事業調査

特別委員会

森下(雅)・森

下(芳)・壬生

・西川・戸梶・

尾崎議長

西川副議長

5

日高村表彰式

西川副議長

7

全国地方議会シン

ポジウム

尾崎議長

8

第23回移動高知新

聞ふれあい高新in

日高村オープンニ

グイイベント

西川副議長

9

第60回町村議長全

国大会 尾崎議長

10

第10回高幡町村議

会議長会県外研修

会 尾崎議長

11

第2回仁淀川改修

期成同盟会要望活

動(高知河川国道

事務所)

尾崎議長

14

高岡郡監査委員協

議会研修会 野村

28	青少年育成村民会	野村	1 1 2	全国町村議会議員 互助会理事会・全
25	例月現金出納検査	野村 修 壬生	1 1 2	全国町村議会議員 互助会理事会・全
24	農業委員会県外研 修	岡本・矢野 野村	12 1	日高村めぐり大会 西川副議長 議会運営委員会
24	定期監査	野村	12 1	日高村めぐり大会 西川副議長 議会運営委員会
21 22	第2回仁淀川広域 市町村圏事務組合 議会定例会	野村・西川・森 下(芳)・矢野	8 14	第4回日高村議会議 定例会
19	日高村防災訓練	尾崎議長 9人出席・1人欠 席	5	日高村議会議長会 正副会・日高村議 会議長会理事会 尾崎議長
17	年末年始交通安全 運動打ち合わせ会	尾崎議長	4	第27回「障害者の 日」のつどい・第 28回日高村ボラン ティアまつり 西川副議長
29	議運営委員会・総 務常任委員会	尾崎議長	2	第2回仁淀消防組 合議定例会
29	総務常任委員会	森下(雅)・森下 (芳)・尾崎・野 村・横山	2	合議定例会
29	議運営委員会・総 務常任委員会	尾崎議長	2	第2回仁淀消防組 合議定例会
29	議運営委員会・総 務常任委員会	尾崎議長	2	第2回仁淀消防組 合議定例会

編集後記

ています。

これらをたすきとする
と、これには大事な問題が
託されています。

大宰治の「走れメロス」
は、友達のため命がけで走
る。私たち議員も頑張っ
て、この大事なたすきを切
れ目なくつないでいかなけ
ればなりません。

そのためには「分かりや
すい議会へ、皆さんに見え
る議会へ」とする必要があ
ります。

お気軽に議会の傍聴にお
越しください。

今年もどうぞよろしくお
願いします。

この正月のニューイヤ
ーのたすきリレーを見
て、私は議員を駅伝ラン
ナーに例えて考えていま
した。

議会では、村から提案さ
れた議案を議論していま
す。議員はこの中で皆さん
の生活に密接に結びついた
予算について、質疑を重ね
いろいろな制度を精査し、
皆様からの声を国・県・村
に要望するなどの活動をし



進む日下川改修工事土捨場整備工事

次回議会は、3月9日(木)午前10時に開会の予定です。お気軽に、傍聴にお越しください。

議会広報発行調査特別委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 尾崎 政廣

議会広報発行調査特別委員会

- 委員長 西川 龍子
- 副委員長 戸梶 章
- 委員 岡本 光男
- 委員 野村 重夫
- 委員 森下 芳文

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。